

第6回あきた With 杯ボッチャ交流大会

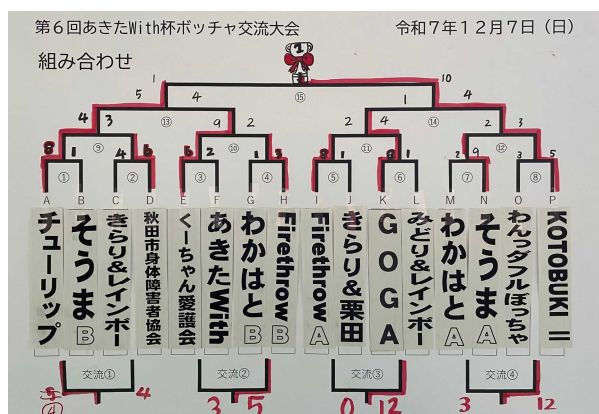
日 時：令和7年12月7日（日） 9時00分～12時30分

会 場：秋田県生涯学習センター 3階 講堂

参加者：秋田県ボッチャ協会、秋田市身体障害者協会、生涯学習センター利用者、高等学校生徒、特別支援学校在校生・卒業生・保護者、クラブチーム員、あきた With*関係者（計77名）

※あきた With は、秋田県生涯学習センターの学習活動の趣旨に賛同した県内企業で設立した非営利任意団体

障害の有無にかかわらず、誰もが共に楽しむことができる「ボッチャ」で交流を深めるイベントを実施した。あきた With の共催による交流大会は今年度6回目を迎え、16チーム、77名が参加しました。結果は、優勝「KOTOBUKI II」、2位「チューリップ」、3位「くーちゃん愛護会」、「GOGA」となりました。



16チームが優勝を目指しました



参加者同士で交流を深め、笑顔で写真撮影

【ボッチャ交流大会の様子】

今年度はコートの縦の長さを短くし、正規のコートよりも小さくすることで、障害のある方から小さな子どもまで、みんなでボッチャを楽しむことができました。歓声が上がったり、励まし合ったりしながらゲームが進み、初めて会った参加者同士でも気軽に会話を交わし、一体感が生まれ、会場の様々な場所で笑顔あふれる光景が見られました。楽しい時間を共有し、人と人とがつながる喜びを感じることができた交流大会となりました。



狙いを定めて、慎重に投球！



次の試合へ向けて、相手チームと一緒にボールを拾いました



仲間と一緒に作戦を考え、相手チームと真剣勝負しました

【参加者の声】

- ・息子がこの交流会で学生時代の友達に会うことを楽しみにしている。保護者も参加し一緒に楽しめるので、来年度も開催するのであれば参加したい。（特別支援学校卒業生保護者）
- ・優勝できると思って参加したが、投げ方に安定感がある方が多く、優勝することができなかった。来年度は優勝できるように更に練習を積んでいきたい。新たな目標ができて良かった。（障害当事者で構成するクラブチーム員）
- ・児童生徒が学校以外の場で、楽しんで活動している姿が印象的だった。様々な方と交流できる場の大切さに改めて気が付くことができた。（特別支援学校教員）